

令和元年度 第 7 回教育委員会定例会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第23号 施設等利用給付に係る特定子ども・子育て支援施設等の確認に係る公示について</p>	<p>施設等利用給付に係る特定子ども・子育て支援施設等の確認に係る公示について、教育長の臨時代理により公示したので、同条第2項の規定により報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	

令和元年度 第 7 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>令和元年10月8日(火)</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時00分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p> <p>教育委員 田之上 厚美</p> <p>教育委員 福里 由加</p>	<p>教育総務課長 紺屋 昭男</p> <p>学校教育課長 明石 浩久</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、令和元年度第6回教育委員会定例会を開会した。

2 令和元年度第6回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

報告第25号 施設等利用給付に係る特定子ども・子育て支援施設等の確認に係る
公示について

4 その他

なし

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	報告第25号 施設等利用給付に係る特定子ども・子育て支援施設等の確認に係る公示 について
学校教育課長	施設等利用給付に係る特定子ども・子育て支援施設等の確認に係る公示 について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について 報告した。
田原委員	在園児以外を対象とするとあるが、誰なのか。小学生も該当するのか。
学校教育課長	就学前までの未就学児だ。小学生については児童クラブがある。
田原委員	わかった。
葛迫委員	今回の無償化で、資料中の園以外でもあるのか。
学校教育課長	学校教育課所管は資料中の園だけであり、その他の認定こども園等につ いては福祉課が公示するものだ。
葛迫委員	わかった。
4 その他	
田原委員	青少年海外派遣事業「夢の翼」の状況について教えてもらいたい。
学校教育課長	学校教育課職員による香港事前視察の状況を報告した。
5 委員並び に教育長及 び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	教育委員、教育長及び各課長の報告に入る。
田原委員	1. 「垂水中央中学校体育大会について」 9月15日（日）垂水中央中学校体育大会に出席した。天候にも恵まれ、 競技や応援に朝から気合を入れて取組んでいる姿も見られて、頼もしく感 じた。 暑い中であつたが、男女とも長距離走の選手が、最後まで手を抜くこと もなく全力を出し切って走りきった姿に感動した。また、3年生がフォー クダンスを楽しそうに、オーバーアクションで踊る姿は微笑ましかった。 あのような中では、いじめなど起こらないだろうという、よい人間関係 を感じた。

楽しみにしているフォークダンスであると思えるので、これからもずっと続けていってほしいと思った。

2. 「学校訪問について」

9月19日（木）柗原小学校と垂水小学校の学校訪問に出席した。両校とも準備万端で、教室や廊下の設営などがとてもよかった。

学力向上に向けた取組が、学校経営の中にしっかりと位置付けられていたが、それらを日々の授業の中で確実に実践されているのか、職員一人一人の意識の高揚や、管理職の思いが届いているのかなどの見届けや、日頃からの職員とのコミュニケーションが大切だろうと思った。

3. 「水之上小・水之上地区公民館合同運動会について」

9月29日（日）、水之上小・水之上地区公民館合同運動会に参加した。

合同で開催するようになって10回目で、10年の間で、台風などで小学校単独の開催の年もあった。開催できなかった年も3回ほどあり、「合同運動会の回数は7回だ」という意見もあったが、合同でできなかったとしても計画は立てているのだから、合同運動会として回数を積もることにしようとなった。

直前までの心配をよそに、素晴らしい晴天に恵まれ、学校も地域も、最近になくプログラムを充実してやり切ることができて大満足であった。

どちらも事前打合せや準備がよかったので、競技がスムーズに進行し、地域の方々が小学生を応援する姿は見かけるが、小学生が地域の方々を一生懸命応援する姿を見ることができ、より一体感を感じる大会となってよかった。

葛迫委員

1. 「学校訪問について」

9月19日（木）柗原小学校と垂水小学校の大隅教育事務所との合同訪問に出席した。

柗原小学校の小規模校の特長を生かした学校経営。研究主題にある「関わり合いを通して学習する指導の工夫」が掲げられていたことを踏まえ参観した。

複式学習での学習の進め方に、各児童が自分や友達の考えを、確認しながら理解しようとする姿や、子ども会活動では、地域社会との関わりをもって、郷土伝統行事の「おろごめ」などに学校と児童が参加し、地域の活性化につながる姿などを確認することができた。今後も関わり合うことを大切に取り組んでほしいと思った。

垂水小学校は、「コミュニケーション能力を効果的に育む指導のあり方」が研究テーマということで、授業に対する児童の姿から確認できればと思い参加した。

算数科の学習では、「直角」の意味を考え、「探そう。作ってみよう。」と、児童と先生、児童と児童との意見交換によってお互いが理解していく姿がたいへんよかった。長方形の定義を理解し、四角形の中から長方形を探すことも、児童が理解し、興味を持たせることの授業を確認できた。

田之上委員	<p>2. 「柘原小・柘原校区合同大運動会について」</p> <p>9月29日（日）、柘原小学校全児童22名出席のもと、校区との合同運動会が晴天の中開催され、出席した。</p> <p>開会式のあと、エール交換・応援合戦が始まり、赤組、白組が、ともに元気はつらつに繰り広げ、甲乙つけがたい応援合戦だった。</p> <p>種目は、児童数が少ないこともあり、全校児童と校区の方々が交互に行うことで、スムーズな流れでプログラムは進んでいった。</p> <p>来賓参加ということで、私もグランドゴルフに挑戦したが、なかなかボールがゴールに入らずに苦戦そのものであった。</p> <p>合同運動会に多くの地域の方々が参加し、「子どもたちと走る、運動する、大きく笑う、大きな声で声援する。」など、柘原の子どもたちを、地域社会が育てている姿を、この合同運動会で見ることができたことをありがたく、うれしく思った。</p>
	<p>1. 「牛根小学校・校区合同運動会について」</p> <p>9月29日（日）、牛根小学校・校区合同運動会に参加した。</p> <p>学校の周りの山々の深い緑と、青い空のコントラストが美しい好天に恵まれ、11人の児童と先生方、家族総出、校区の方々も多く参加され盛大に開催された。</p> <p>児童一人一人が、自分の役割をしっかりと持って立派に努めていた。</p> <p>それぞれの家族ごとの競技もあり、グランド一周をそれぞれに考えた内容を披露し、とても楽しいものであった。</p> <p>地域のわずか11人の子どもたちではあるが、地域に見守られ、また子どもたちがいることで、地域にも元気な活力を還元しながら、学校と地域がうまく折り合っていて、和やかな運動会であった。</p> <p>2. 「垂水小学校の運動会などについて」</p> <p>10月6日（日）、垂水小学校の運動会に出席した。</p> <p>大きな学校で、競技やダンスなど大規模校ならではの特色を出しながら子どもたちも一生懸命頑張っている姿をうれしく思った。</p> <p>子どもたちを必死に応援する声や、カメラやビデオを撮る姿がすごくほほえましく、幸せな1シーンだなあと思いながら見ていた。子どもたちがダンスする表情が、にこにこした笑顔で一生懸命ダンスしている姿も、とても印象的だった。</p> <p>体育祭や運動会を通して、体育学習の発表の場所であり、また家族参観の日でもあるのかなあと、この秋の運動会シーズンに思うことであった。</p> <p>3. 「学校訪問について」</p> <p>9月19日（木）、学校訪問となる柘原小に早く着き、車から降りると、「こんにちは」という明るく元気な声をもらい、着いて早々うれしくなった。「あとで見に行きますね。」と返すと、「はい。」という元気な声で返してくれ、先生がいない朝の活動を進めていくことに、「えらいなあ。」と感心した。</p> <p>柘原小学校は小規模校であるため、学校自体が落ち着いた雰囲気の中で</p>

授業を参観することができた。

垂水小学校は、学校に訪問した途端、子どもたちの声や音がして、とても活気があり、子どもたちも先生方も頑張っていて、「いいなあ」と思う反面、小規模校を見た後であったこともあり、多くの児童を一人で授業される先生方を見て、「大変でしょうが、頑張ってください。」と思うことだった。

おいしい給食を今回の学校訪問でもいただいた。安い給食費の中で、工夫をされ、安全でおいしいものを子どもたちに届けていただいている給食センターの方々に感謝することだった。

4. 「読み聞かせについて」

水之上小学校は月に1回、保護者が朝の読み聞かせを行っており、先日、水之上の知人から誘いがあり、保護者の代わりに15分間の読み聞かせをさせてもらった。

もともと、読み聞かせは垂水小学校で行っており、大勢の子どもたちの中でやっているが、10名ぐらいの子どもたちであったが、きらきらした目で一生懸命聞いてくれる様子が、とてもうれしかった。またそのような機会があればいいなあと思った。

教育長

1. 「体育大会などで思ったこと」

垂水中央中学校の体育大会で、アナウンスの女子生徒の一言が、場を和ませてくれた。本日教頭先生に確認してみたら、100m走でフライングをしたようで、気が利いて、「令和発のフライングです。」とあり、その場が大変和んだ。

中学校の体育大会は、まさに中学生が主体で、「自分たちでやっている」という感じで、先生からの「やらされ感」ではなく、自分たちが気を利かして、自分たちが役員として働いている姿を見て、頼もしく感じた。

一方、8小学校の運動会を回らせていただいたが、本日の教頭会で、プログラムが学校間でいろいろと工夫がされているので、お互いにそれを見合うことで、毎年同じではなく、一工夫、二工夫してみることも大事であると話をした。

地域や保護者の方々は、「今年は何か違う」というのを感じ取られるので是非やってみてほしいと伝えた。

先ほど田之上委員が、「体育行事の成果の場である」と言われたが、運動会や体育大会は、大きな学校行事である。学校生活や学習にどうその力を転移するかである。

子どもたちも、やり遂げたという自信、喜びがきっとあったと思う。それを、どう学校生活で生かされていくのか、学習にどう生かしていくのかを結び付けてやるのが教師の役割であるということ話を話した。

さて、垂水高校にも同窓会の方々のご尽力のおかげで、エアコンが設置され、9月18日(水)に設置式が行われ、その後、子どもたちの学ぶ姿を見に学校を訪ねてみた。

やはり、快適であり、生徒の表情を見ると、学習に取り組む構えも違ったような気がして、「よかったなあ」と思うことだった。環境整備も整いつつ

あり、今後、中味の充実も、どう図っていくかということであろうと思った。

2. 「大隅地区高等学校PTAブロック別研修会について」

10月5日(土)、大隅地区高等学校PTAブロック別研修会で講演させていただいた。

講演のメインは、「家庭の教育力と保護者の役割である。」という話をし、今、そのようなことが薄れているのではないかと考えている。

例えば、自己肯定感、自己有用感というようなところが、うまく育まれていない要因がどこにあるのか、というようなところから話を始めた。

「家庭教育の質を上げる。」ということはどういうことかを問いかけた。

私が切り口として申し上げたのは、「コミュニケーションの質と量」。どう関わって、どういった話をするのか。こういったことが実は子どもたちの背中を押す、大事な要因だという話をした。

それと、「親の背中の子」、後姿の教育について話をした。私自身の経験談であるが、朝から夕方まで、汗びっしょりになって仕事をしていた両親の後姿を見てきた。私自身にとっては、美しい後姿であり、大好きなお父ちゃん、お母ちゃんの姿である。そのような気持ちを、今の子どもたちは持っているのだろうか。あるいは、親は意図的に見せているのだろうか。ということ話をした。

母が一生懸命仕事をし終わった後に、縄跳びをし始める。わたしはそれを見て母に、「一緒に跳ぼう、一緒に遊ぼう」と声をかけた。一生懸命働いた後に、私に付き合ってくれる母を、「すごい。」と思った。

父は仏壇に座って、毎日お経をあげ、母は、仏壇を拝んだ後に、亡くなった兄への日記を、毎日語りかけるように付けていた。そのようなことが私にとっては美しい姿で、これがまさに「背中の教育」であると思う。

親の方々も、そのような姿を見てきたと思うが、「今の子どもたちに伝えているか。」ということ、我々も含めて反省するところである。ということ話をした。一番は、「心を作っていくこと」が大事で、優しさや思いやりも、もちろん必要であるが、いちばん社会問題化しつつある、例えば、「耐えること、我慢すること、折れない心」をしっかりと作っていかないと職に付いても、長続きしないのではないかと考えている。

因みに、鹿児島県の若者の離職率は一番高いようである。その背景はわからないが、そのことをともに考えていかななくてはならないと思うところである。

それと、「一家庭一家訓」と「一家庭一自慢」をセットでやってみませんかと投げかけてみた。私は昨年まで「一家庭一家訓」を言っていたが、今度からは「一家庭一家訓」プラス「一家庭一自慢」を唱えようかと考えている。これは、表裏一体だと考える。例えば、「あいさつをしましょう。」と家訓を決めた場合、子どもに、「あなたにとっての自慢は何ですか。」と問うた時、子どもが例えば、「うちのお母さんの明るい笑顔です。」といってくれたら最高だと思う。

そのようなことを、講演の中で話をし、「一家庭一家訓」と「一家庭一自慢」をセットでやってみませんかと話をさせていただき、90分という時間を私自身が楽しませてもらった。

また、全国学力学習状況調査の話をし、保護者の方々に、「解いたことがありますか」と聞いたところ、300人近くの来場者の中で遠慮もあったと思

うが、10人ぐらいが手を挙げられた。解かれたことがある方がいたことに感心した。実際は、もっといらっしやると思う。そのように今求められる子どもの力を親が知っていると、子どもへのかかわり方、声かけが違ってくると思う。それも大事ではないかという話をした。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

9月10日から10月8日までの主な行事等について報告。
併せて、11月11日までの予定についてお知らせした。

6 閉 会